

**新理事会は、全職員の英知を結集し、  
年度内に公益財団法人に移行し、財務改善を図り、  
中長期計画に対応できるよう、  
先頭に立って役割を果たす決意です**

# 厚生協会だより

2012年7月21日  
第 314 号

発行  
(財)宮城厚生協会

〒985-0835  
宮城県多賀城市下馬  
二丁目13番7号  
TEL 022-361-1113  
FAX 022-361-1124  
発行人：長澤 清光



2012年 第2回厚生協会理事会 (坂総合クリニック8階会議室)

専務理事 長澤 清光

5月30日に「厚生協会評議員会」が開催され、2011年度の事業報告及び決算と未処分利益処理、2012年度予算を確定するとともに、公益財団法人への移行認可、運営に責任を持つ厚生協会新理事28名、監事2名が選出されました。特に次世代に継承することを重視し新たに8名の理事が加わりました。また6月9日に開催された第1回理事会で役付理事を選任しました。

○理事

水尻 強志  
大山 泰人  
前谷津温子

(新) 呉 賢一  
(新) 大槻 透  
(新) 河内 満彦

(新) 佐藤 直志  
(新) 鈴木 久代  
(新) 小松 英則

(新) 湯田 正孝  
(新) 伊藤 恵  
山田 忠行  
近江 寿  
千葉 直人  
(新) 海和 隆樹

○監事

- 理事長 水戸部 秀利
- 副理事長 今田 隆一
- 専務理事 山田 裕
- 副専務理事 長澤 清光
- 常務理事 横山 公樹
- 平賀 秀法
- 内藤 孝
- 熊谷 正子
- 佐藤 孝一
- 小熊 信
- 富山 陽介
- (新) 阿南 陽二
- (新) 小幡 篤
- (新) 斎藤 弘子
- (新) 神倉 功
- 理事

同時に、厚生協会の公益財団法人への移行認可に向け、職員以外の外部有識者を中心に評議員9名、予備評議員1名を選任しました。評議員会は、厚生協会が公益法人として公益性を担保されるように、公平な組織として位置づけられ、運営が定款から逸脱していないか監督するとともに、理事会等の役員を選任、事業計画、決算・予算、財産処分や長期借入、定款変更等の決議権を持つ評議員会になります。

これまでの評議員会の役割

が変化したことから、新たな定款に定められた事業目的の実現に向けて、各病院・事業所の職員や関連する民医連法人、共同組織等から選出される協議員(60名前後)による新たな任意の機関として「事業活動協議会」を設置することも決めました。

## 新理事会の 決意と役割・課題

厚生協会にとって2012年度の事業課題は、地域での大震災の復興に向けた取り組みをさらに強め、公益財団法人への移行認定申請をおこなう、年度内に公益財団法人に移行することです。震災で被災した長町病院附属クリニック跡地への新長町病院建設を成功させることです。また、全病院・事業所で無料低額診療制度に取り組み、生活困難な方々の受療権を守るとともに、厚生協会の事業成功のための財務の改善を図り、安定した財務で中期計画に対応できるように役割を果たしま

す。

同時に、民主党政権が推進している「社会保障と税の一体改革」等による各病院・事業所の事業環境の変化に対峙しつつ、自らの事業所のポジショニングの再検証を含めた、事業所の役割、特長を生かしながら、医療・経営構造改善を迫っていくかなければなりません。厚生協会の「中長期的事業・経営戦略」を明確にし、2013年度開設に向けた坂総合病院「救急医療・地域連携・教育ステーション」建設等の着手など、公益目的事業のさらなる整備を進め、公益事業の長期的展望を支える経営構造を確立することが必要です。

◆ ◆ ◆  
新理事会は、その具体化に向け、医師養成・配置計画と法人経営計画の整合性や今後の「医療機能区分」に対応した各病院構想の検討と優先順位の検討、診療所の将来構想の事業計画化と「介護サービスイス重点強化」への対応、地域包括ケアシステムへの対応等の事業構想の具体化に向け検討を始めます。あわせて経営

構造の転換、法人機能の見直しを進め、業務効率化と事務の再編・センター化の推進、職員雇用制度・賃金制度の改定、管理マネジメント体制等の見直しに着手します。さらに公益財団法人としての事業内容の整理、今後の事業強化分野に対応した非営利法人化の研究や関連法人との連携強化の課題に取り組みます。

◆ ◆ ◆  
何よりも、「社会保障と税の一体改革」を許さず「TPP参加阻止」「原発ゼロ」のたたかいを強め、政治の歪みを正し、安心して必要な医療・介護・社会保障が受けられる社会に変えていくために、新理事会は先頭に立って、全職員の英知を結集し、共同組織や地域住民のみなさんと一緒に役割を果たす決意です。



## 医療・介護事業を前進させる設備投資のため 協会債・基金への協力をお願いします

### ● 協会債 (利率)

- ・ 1年債 0.20%
- ・ 2年債 0.30%
- ・ 3年債 0.40%
- ・ 5年債 0.60%
- ・ 積立方式 (職員のみ)

### ● 基金

- ・ 通常 ー□1000円から
- ・ 積立方式 (職員のみ) ー□1000円から

※申込書は各事業所の友の会事務所または総務にあります。

3/17

# 「職場での精神健康管理活動の推進」 学習会についての報告への「補足」

講評者 仙台錦町診療所・産業医学センター所長 広瀬 俊雄



講評を述べる広瀬先生

## 来年11月仙台で「日本産業ストレス学会」開催

はじめに、来年11月15〜17日に「第21回日本産業ストレス学会」が仙台市で開催されます（私が学会長を務めます）。学会そのものはもちろんのこと、ブレ企画等も予定していきたく考えておりますので、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

### 『現代型うつ』の「呼称」は正しく無いと考える

さて、「厚生協会だより5月号」に鈴木悦代さんからご紹介があり、その中で私の講評についても触れてありました。「そこでは、近年見いだされている『現代型うつ』や○○○○と書いてあります。

私は、この「呼称」は正しく無いと考えていて、講評では、昨年の日本産業ストレス学会での野村総一郎日本うつ病学会理事長の特別講演「現代型うつ病を巡って」の抄録を資料として配布して説明しました。

野村先生は抄録の中で、「このタイプは学問的には正式の病名で無い」「西欧では『現代型』』という概念が話題にな

っていない」と述べています。

比喩的にいえば「日本人が変わって（例えば新人類と呼ばれるように）きていて、そしてその中からうつ病になる人の中に従来の典型と違っている方が目立ってきている」のだろうと思います。

### 休業期間、柔軟に考える時期に

ディベートینگで検討していたように、これまでの「規定」ですんなりと「休業・復職」出来ない事例は確かに増えています。ですが、それぞれの事業体でより多くの事例の判断に役立つ規定を先ずは充実していく努力は必要です。何故なら、あまり個々毎に判断してしまつと「不平

等」が生じるからです。「規定」が有る事を前提としつつ、皆さんが「現代型うつ病」と呼びたがる方々や「双極性障害（元の名で言えば躁うつ病）」の方々は、規定をそのまま適応出来ない・出来にくい側面も多々ありますので、休業期間等についてはもう少し柔軟に考えないといけない時期に来ているように思います。



学習会風景

### 判断する管理者層の参加をもっと

2回の参加で感じたことですが、心の病の発症について職場要因や予防策を考える役割を持ち、一般に復職すべきかどうかが、の判断をする管理者層の参加が極めて少ない、と感じました。今後の企画に積極的に参加していただくか、その層の方だけ対象の学習会も設けてもらえれば、と願つております。



ディベートの様子



泉病院院長就任ごあいさつ

## 職員満足度の高い イキイキした病院めざす

泉病院院長 内藤 孝

6月1日付で泉病院院長に就任しました。泉病院は研修医の時から約25年ぶりになります。病院の院長も初めてですし、まだまだ病院の環境と仕組みに慣れるのに精いっぱい状況です。賞録もカリスマ性もない私としては、ひたすら職員の声に耳を傾けて答えを探していくしかないと思っています。漠然と職員満足度の高いイキイキとした病院をめざしたいと考えています。幸い泉病院を大切に思う医師、スタッフがたくさんいるようですので協力して楽しく実現していきたいと願っています。

私もつい最近知ったのですが、泉病院は今年5月で設立30年を迎えました。長年にわたる医療活動の結果、地域医療における重みが増したと同時に、建物の老朽化も進んできておりリニューアルが最大の課題です。長町病院附属クリ

ニックが震災で倒壊したため少し先になりましたが、病院がめざすものを明確にしながら改めて準備を始めていきたいと思っています。

最後に宣伝を一つ。東日本大震災での泉病院の取り組みをまとめた記録集が完成しました。111ページ、DVD付きの立派なものです。広く販売しておりますので是非お求めください(一冊一、二〇〇円)。希望される方は前谷津事務局長までメールしてください。お待ちしております。



坂総合クリニック所長就任ごあいさつ

## 地域医療に更なる 貢献できるクリニックに

坂総合クリニック所長 小幡 篤

6月1日より坂総合クリニック所長に就任しました。震災後は外来患者数増が見られ、「いざとなったら坂病院」という地域住民の期待の大きさを実感しています。

一方で坂病院の「地域医療支援病院」としての役割を考慮した場合、外来患者数増は単純に良しとできない側面もあります。「いざとなったら坂病院」が普段は地域開業医で」という連携を考えた場合のクリニックの位置づけは単純ではありません。

また新病院建設後、現在の1号館もクリニックとなり同じ診療所ながら2つの建物に分離して運用する効率の悪さも次第に明らかになってきています。クリニックの役割と坂病院の外来部門としての位置づけを考えながら今後のあり方をスタンスとしても施設としても考えなければならぬ時期に来ていると思います。

今年4月より「みちのく総合診療医学センター」を設立し家庭医や総合医といったジェネラリスト(臓器別に専門分化せずに幅広く総合的に診療できる医師)の育成を本格的に開始しました。これは坂のみならず長町・古川さらにはしばたや松島の診療所にも協力いただき多彩な医療機関での経験を積んで医師を育成していくプロジェクトです。東北地方はジェネラリスト育成システムが最も遅れている地域で、震災後その人材不足が顕著です。現在2名が研修中ですが、4月から総合診療専門の指導医赴任もありクリニック内外来の中で総合診療科としての外来診療も展開し、家庭医・総合医の研修・育成に力を注いでいます。このようにジェネラリスト育成の場としてもクリニックを位置づけ、地域の医療に貢献できるように進めていきたいと思っています。



しおかぜ訪問看護ステーション  
しおかぜホームヘルパーステーション所長就任あいさつ

## 医療依存度の高い方にも 対応できる事業所めざす

しおかぜ訪問看護ステーション・  
しおかぜホームヘルパーステーション所長  
**永井 知枝**

4月1日から所長になりました。今まで、理解していなかった諸手続き、経理の数字の見方等々、何かあるとすぐ連絡してしまい各関連部署の皆様、介護事業部の皆様、訪問看護ステーション所長様方には大変ご迷惑をおかけしています。親切、丁寧に教えて頂きありがとございます。体を使う業務から頭を使うことが多くなり、きつと、頭から湯気が立ち上っているのを看護スタッフやヘルパーのみなさん、ケアマネジャーさんに見えているのでしょうか…。机に向かって、一応、難しい顔をしている時は、そっとしてくれています。

看護スタッフは、業務の他にレクリエーション係を率先して担当してくれ、ステーションの職場づくりに貢献してくれます。ヘルパーのみなさんは冗談に付き合っ

おいしい料理を差し入れてくれます。ケアマネジャーの方々は目が行き届かない書類関係を整備してくれ居宅介護支援に関して尋ねるとすぐ返答してくれる、頼もしい存在です。

至らないことが多々ありますが、それを受け入れてくれる懐の大きさがこの事業所スタッフにはあり、もう少し甘えさせて頂こうかと思っています。

同スペースに看護師、ヘルパー、ケアマネジャーがいることは非常に連携が取りやすく、医療依存度の高い利用者様に同時に関わっていることも多くあります。

今後、地域には今以上に医療依存度の高い方が増えると考えられ、その様な状況にも対応できる事業所をめざしていきたいと思えます。



福田町訪問看護ステーション所長就任あいさつ

## 仙台市東部エリアの 在宅支援充実めざす

福田町訪問看護ステーション所長  
**渡辺 恭子**

年明けには、まさか、半年後に自分が所長になるとは思っていませんでした。正直、今も実感がわかないまま、業務をこなしている毎日です。3月半ばから引き継いだものの、ちょうど4月に診療報酬と介護報酬の同時改定があり、細かい加算の条件など、今までなんとなくしか把握していなかったことがポロポロ出てきて、えっ、知らなかった！という状況です。でも新しいことを学ぶのも刺激になり、少しずつ、楽しさを実感しているこの頃です。

さて、当ステーションの紹介を少し。坂病院のある下馬駅と仙台駅のちょうど中間くらい、福田町駅のすぐ目の前にあります。宮城野区を中心としつつ、多賀城や利府など、広いエリアを担当しています。

4月改定もそうですが、国は病



# NO MUSIC, NO LIFE



古川民主病院医療相談室 佐藤 健太郎

私は子どもの頃から歌う事が好きでした。昔から家族や友人とカラオケに行くことは多かったのですが人前で歌う機会は殆どありませんでした。

大学に入学して、サークルの見学をしたときに先輩たちのバンド演奏を聞き、自分もバンドを組んで歌ってみたいと思いました。

## 泣きながらの大学最後のライブ

入部後は同じ学科の男子6人でバンドを組み、学園祭や街のライブハウスで活動をしていました。ライブを重ねる毎に、「それぞれが奏でる音楽が一つになること」、「その音楽を通して観客と一体になれること」に無類の楽しみを覚えました。大学最後のライブでは、「このメンバーでライブをするのは今日で終わりなんだ。」と歌いながら考え、泣きながら演奏したことを覚えています。

## 仲間を集めることから

私は入職して2年目になります。入職後、



JR名寄駅 感謝祭にて

大学時代の先輩から「メンバーを集めてバンドを組まない?」と誘われました。まさか社会人になってもバンドを組めるとは思っていなかったので喜んで引き受けました。先輩がベース、私がボーカルで、メンバーはたったの



大学時代 軽音ライブにて

2人。仲間を集めることから始まりました。軽音サークル内のバンド活動しかしたことのなかった私にとって、一からメンバーを集めるという事は初めての経験でした。悩んでいてもしょうがないので、楽器店にメンバー募集の張り紙をしたり、同期で楽器ができる人を探しました。

## 仙台ライブ目標にがんばっていきたい

無事にメンバーも揃い、現在は仙台でバンド活動をしています。メンバーの殆どが社会人なので、なかなか予定が合わず月に1~2回の練習ですが、社会人になってもバンドが組めるとは思っていなかったので私にとってはとても有意義な時間です。メンバーの皆もとても良い人たちばかりで毎回練習が楽しみです。演奏自体はまだまだ人前で披露できるものではありませんが、これから演奏できる曲を増やして、仙台でのライブを目標にがんばっていきたいと思います。ライブの際にはぜひ皆さん見に来て下さい。

原稿募集

## 「私の夏休み」「うまいもの自慢」

「私の夏休み」「うまいもの自慢」というテーマで原稿を募集します。600字程度で、締め切りは8月末。「協会だより9月号」に掲載させていただきます。ご協力のほどよろしくお願い致します。

連絡先▶事務局 岩根 坂病院内線 2273 メール: sigiwane@zmkk.org

